

生 活

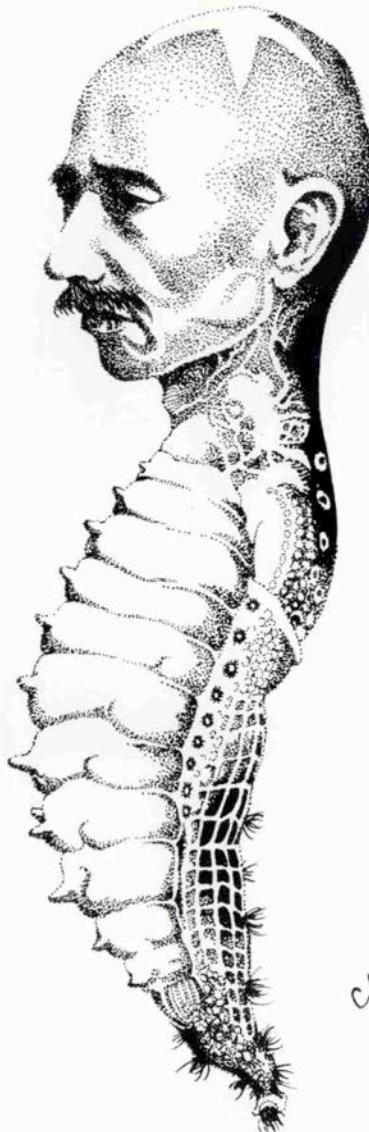
△第九回▽

吉峰 正人

絵・楳

忠

chu



女はストローをくわえ、吸いあげる。飲み込まず、ミルクを含んだまま口をぼくに向けてつき出す。顔を左右に振つて避ける。女は接近する。上下に、斜めに、首から上を動かしつづける。そのたびに痺れや痛みが走る。正確にはどれが痺れでどれが痛みなのか区別できない。

が、ともかくも、それらの感覚が盛んに体のあり場所を教えていた。縛られていても、それはまだ自分のものであることにまちがいはない。ぼくはめったやたら動きづける。

ハシツと音がした。耳のすぐ近くで。何が起こったのかすぐにはわからなかつた。そのうち頬が熱くなり、女

の五本の指がそれぞれ違つた感じで顔に貼りついていることがわかつた。指の長さまではっきりと感じられる。人差し指より薬指の方が彼女は長い。一発の平手打ちがぼくの動きを止めた。一瞬ひるんだ隙に、女は両手でぼくの顔をはさみ、柱に押しつけて固定する。そして素早く、顔のどこか一部—女の唇とぼくの鼻の横あたり—を密着させる。なんとかして逃れようと力を入れるが、柱が邪魔になつてうまくいかない。女はそのまま唇をぼくの口めざしてすべらせてくる。

あわざる。小さな虫が無数に付着してきたような感触。吐き気がする。こすりあわせてくるたび、虫はぼくの口

のまわりを這いまわる。妻のそれはこんなにも気味の悪いものではないはずである。

しかし、そんなことの一切に構わず、女はミルクを飲ませようとする。舌を丸め、その上にミルクを乗せ、差し込んでくる。舌の上でミルクが蒸れている。吐き気が激しくなる。だが、ゲーゲーとやつてはいられない。嘔吐なんて女は気にもしないだろう。出てきたへドを、彼女はその舌でペロペロときれいになめてしまうにちがいない。こうなつたら闇うしかない。

クツと奥歯を噛み、舌の侵入を防ぐ。歯という強力な武器があることを女は計算に入れなかつたようである。その気になれば相手の舌どころか、自分のものだつて噛み切ることができ。だが、それを使うのは少し早すぎ。ここから逃げることができないと決まつたわけではない。

舌が歯に遮断されている。どうだ、どうすることもできないだろう。それまでまつすぐぼくの喉をめざしていた舌が、横に、斜めに動きだす。ミルクをその上に貯めたまま、その先で歯茎や唇の裏を刺激してくる。女の器用さとその思いつきには感心する。咄嗟に考えついたことではなさそうである。ミルク飲み人形を相手に毎日練習していたにちがいない。人形は女のキスで口を開け、喘ぐようになつたかもしれないが、ぼくには通用しない。そんなことぐらいで人に感動をあたえることができると思つたらおおきなまちがいである。それほど単純な仕組みではない。妻であるというだけで、それ以外のほとんどを知らないあいつを抱く時の、あの戸惑い、恐怖、罪悪感、いや、そんなものではない、どういうのか、そうちつくり奪つてしまふような、あの恍惚感とは比べものにならない。

何故妻だから一緒に住んで、何度も犯してもいいのか、そのへんのところは未だにわからないが、そのわからぬい部分をしつかり抱いて、それでも乱暴に飛びついでい

く時の、あの慄えは最高である。妻に体を預けながら、いつかつかまるのではないかといつも怯えている。しかし、その瞬間の、あの戦慄には替えられない。永久に妻は見ず知らずである方がいい。そういう意味では女もぼくの妻であるのかもしれない……。

あわさつた唇の間からミルクが少しづつこぼれていく粒になつてぶら下がつてゐる。残りは女が飲み込んだようである。それなのに、どうしたとか、彼女は唇を離さない。それどころか体ごと密着させてくる。先程ベニスをつまんだ指が首筋を巻く。背中に瓜をたてる。女の鼻息が荒くなり、時折り、喉をウゲツと鳴らす。気がつくとぼくの血も脈はくも踊つてゐる。女の舌に誘導されるとでもなく、ぼくのそれも相手の中に入つていく。かれみ、もつれ、ついには静かに慰めあう。その先でお互いの歯を教え、その裏をつつく。妻を抱く時の、あの恐れに似たものが、その慰めあいの中にある。こうしていふことにぼくはそれほど不思議さを感じていはない。この女は一体何者なのだ？

股間にびたりなじんだ新しい下着をペニスが盛りあげる。尻の奥の方で誰かが押しあげてゐるようである。その相手が誰であろうと、それはその強さも豊かさも変わらない。ぼくのつついっぱいをいきりたつてゐる。腕の自由がきくのならその女を抱きしめたいとぼくは思う。子供がぼくと女を見つめながら、一生懸命小さな歯でパンをかじつてゐる。

どうしてぼくはここにいるのだろう、どこかで聞いたような文句だが、ほんとうにそう尋ねたかった。まだこうして二日目だといふのに、何日もいるような気がする。永久にこうしていなければならぬような気がしてくる。このあとどうなるのか？　ぼくをどうするつもり

なのか？

ふと、新聞が眼につく。総選舉近づく、そんな見出しが見える。選舉人名簿に女と並んでぼくの名前が載つていいのか。

名前？……ぼくは女の名を知らない。いや、妻のそれもわからない。あの男たちにつかまつてから、ずっとそのことを考えつづけているが、どうしても思いだせない。

最初の頃は確かに妻を名前で呼んでいたはずである。しかし、それもいつの間にかオオ一イで足りるようになつた。なんてことだ。ぼくはすっかり妻の名前を忘れてしまっている。いざとなるとほとんど何も憶えていないことに気づく。

女の名前を確かめてみる必要があると思う。聞いたところ、妻のそれと区別できるかどうかわからないが、少なくとも、そうではなかつたということだけは思いだせるかもしれない。

「ねえ！」と呼びかける。こちらから話しかけることにそれほど腹がたたなくなつていて。この部屋の何かと一壁に見つけた、コウモリの形をしたあのシミかもしれない。それは今にもそこから抜け出で、ぼくの肩に甘えてきそうである。実にしつくりとなじんでいる自分がいる。女は片づけの手を休め、「何イ？」と振り返る。

「ぼくは君の名前を知らないんだけど、そのことはどうなるのかね？」そうしている間にも、なんとか妻のそれを使いだそと髪を逆立てる。が、すぐにオオ一イになつてしまふ。

「いいのよ。そんなこと。今までだつてそんなに名前なんか呼んでくれたことがないんだもの。今更氣を使つてくれなくとも、今まで通り、オオ一イでいいわよ」スカートの前で濡れた手を拭きながら言う。

「君はぼくの名前を知つていてるのか？」喋つているうちに、またイライラとしてくる。

「ねえ、ちづるちゃん！ 父さんの名前、なんだつた

け？」女は部屋の隅に坐つてあきすにぼくを見つめている。の子に呼びかける。かかえていたぬいぐるみの毛をむしりながら、

「しんいち」と子供は早口に言う。

「何？ 聞こえない。もう一度」女が言う。「やまねしんいち」と今度ははつきりと得意そうに答える。

「そうね。よく言えたわ。いい子よ」女は一つ一つの言葉に親子三人の生活をしみじみとかしめている。

どうなつてゐるのか。山根真一、確かにそれがぼくの本名である。やまねしんいち、女の子ははつきりとそう言つた。何故知つてゐるのか。母親が教えたのである。

どうして女がぼくの名前を？ やはり妻なの？いや、どこかで調べることだつてできる。きっとそうだ。誰かに頼んでぼくのことをあらいざらい調査したにちがいない「ちづるちゃん！」と今度は女の子に呼びかける。ちづると言う子供の名前もはじめて耳にする。聞き覚えがない。ないはずである。ぼくにはまだ子供がいない。確かにないはずである。名前をつけるにもつけようがない。

「ねえ、ちづるちゃん、母さんの名前、知つてる？」どうしても女の名が知りたい。妻のそれはまだ思いだせないが、子供が教えてくれるその一瞬の響きに賭けてみた。ただほんの少し忘れているだけにちがいないのだ。

女の子から母親の名前を聞いたとたん、ぼくはきっと何かを思い浮かべるだろう。今までの妻との生活を信じることだ。どうしたものかと言うようにちづるちゃんは母親を見あげている。

「教えてあげて。これから名前で呼んでくれるんですつて」女ははしゃぐように言う。ちづるちゃんは軽くうなずき、「やまねとしえ」と答える。

……としえ、トシエ、敏江、敏栄……一瞬はもうやつてこない。わからない。どこかで聞いたような気もするが、そうでないような感じもする。

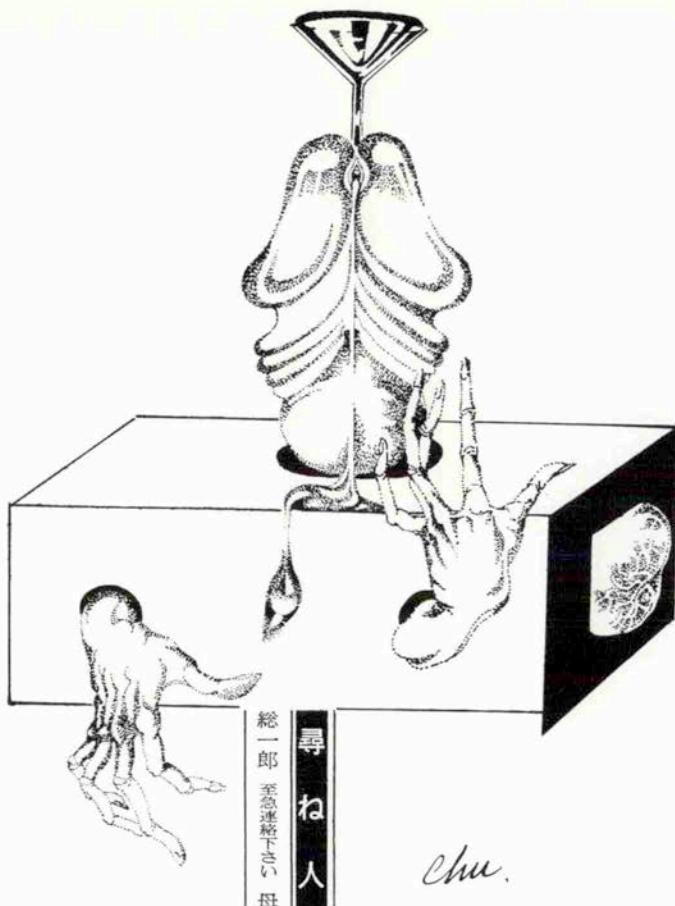
「としえ」と小さく言つてみる。もうひとつピンとこない。ぼくの声が聞こえたのか、

「ハイ」と女は恥ずかしそうに答える。と、不思議なもので、返事をされるとなんとなくそんな気もしてくる。

名前なんてそんなものなのかもしれない。オオ一イと同じで、今どんな呼び方をしても女は返事をしそうである。秋子と言つても通じそうだし、冬子と呼んでも何

と飛んできそうである。春子であつてもその場所にいなければ返事のしようがない。夏子だとしても親しみをこめて呼ばれたら、はいと答えるより仕方がない。今ぼくはここにいる。そして女がそこにいる。その横にちづるちゃんという子供が坐つていて。ぼくがどのように呼ぼうと返事をするのは△としえ▽という女だけである。選挙

保革逆転か？ 眼はふたたび新聞の活字を追う。選挙



なんて今のはくには関係ない。それどころか小便だって満足にできないのである。ロープを切るナイフか、縛られていても人知れず小便ができる機械をあたえてくれるなら、ぼくはその人に投票するだろう。何十万票の中の一票にどれほどの価値があるのか。投票者の存在があるのか。何百万の人を敵にしても、女はぼくとの生活をはじめようとしている。この暮らしをやり通せば何千万も何億も敵ではなくなるかもしれない。公園のベンチで語りあう男女の言葉は音をなくし、ラブホテルのカップルはことごとくインボと不感症になるだろう。暖かそうな灯がともる家の窓々には季節はずれの風が吹き、湯気にけむついた夕食は一瞬にして冷えるだろう。おい、何かあつたのか、日々に叫びながら、どうなつてているのかと確かめに一度は外に飛び出すことだろう。

ぼくは今、それを確かめるため、玄関の戸を開けただけなのかもしれない。出て行くために飛び出すではなく、そこへ帰るために出てみるのである。ぼくは戸口のところで何かを待つていていたがいない。ふたび家に入るための何かを。部屋は暖かすぎ、食事はうますぎる。妻は歓びすぎるし、夫は欲張りすぎる。外は霜が降り、一片のパンも落ちて

いないというのに。外灯の下で隠れてあの女は客を待ち、連れだって行くその男はほんのわずかなやすらぎでさえ金を出しても手に入れることができないというのに。どちらがほんとうなのか？

「ぼくの妻」の出現、ぼくが玄関に立って待っているのはおそらくそれであろう。『あなた！ 何をしてるの、こんなところで、早く入りなさい』妻のそんな声がぼくを救うことのできる唯一のものであるようだ。デートの相手を捜してウロウロしていたぼくを救った時のように。勘のいいあいつのことだ、きっとぼくを見つけてくれるだろう。新聞に尋ね人の広告くらいは載せているかもしれない。

「新聞が読みたいんだけど」誰にともなく言う。しかしそれはとしえという女に向かって喋っている言葉にほかならない。ここにいる限り、それはどうすることもできない。

「はい、ただいま」低い声を一段あげて女は言う。新聞を持ってぼくの前に坐り、少しでもぼくに関わっていることが嬉しくて仕方がないようである。

革新連合政権誕生か？ 党幹部の顔写真が縦一列に並んでいる。ぼくは一体、どの党の何者にこのことを訴え、報告すればいいのか。法務省か？ あてにはならないだろう。ぼくの体にびつたりのパンツが、この部屋のタンスの中から出てきたことをどう説明するのか。環境庁か？ 環境なんてそれほど人に影響をあたえるものではなさそうである。あと三日もここにいれば、ぼくはこの暮らしを気に入ってしまうかもしれない。今よりも馴れることは確かであろう。ほら、この部屋の一つ一つのものが、みんなに親しそうにぼくを見つめているではないか。どこに何があるのか覚えるまで、そんなに時間はかかるないだろう。

「めくってくれ」

通り魔出現、異常性格者の犯行か？ 暴走車、民家の屋根を走る、善意の献血、幼い少女を救う……これくらいのことで人を魅きつけられると思っているのか。少なくともこのぼくの心を動かすことはできない。女を強姦したくともぼくにはできない。それは異常性格者の犯行だけは限らない。異常か正常か、強姦することによって確かめているだけなのだ。民家の屋根どころか、ぼくなら人の列の中を暴走してみせる。しかし、つぶれるのは車だけで、人は起きあがり、またスタッタと歩きだすはずである。ぼくをここから救ってくれるのであれば、牛乳ビン一本なんてケチなことは言わず、全ての血を少女にあたえるだろう。しかし、きっと少女は死ぬだろう。一八〇〇ccなら生きると言うのか。

見逃がしたかもしれないと思いながら、また最初から読む。女は丁寧にページをめくりながら、

「何が読みたいのですか？」と尋ねる。

「君が読まれてますいことだ」記事を追う。

「あら！ 何かしら？」

今にわかる。きっと載っているはずである。あいつは捜しているにちがいない。こんな時のために妻はいるのである。ぼくを証明することのできる唯一の他人。

尋ね人、あつた！ ぼくは体を乗りだす。早く返ってきて、皆、待つてます、おかあさん！ ちがう。他是？ 葬儀の御案内、ぼくはまだ死んでいない。通り魔がどこかで誰かを狙っているように、少女が他人の血で息づいているように、ぼくもここで生きている。通り魔はまたすれちがつた女を押さええつけることによって自分を発見するだろう。少女は鼓動を一時停止させ、また誰かの血をねだればいい。しかし、このぼくはどのようにして自分を確かめたらいいのか。『あなた！ 私です。今迎えに行きますよ』それだけいいのだ。ぼくに声をかけてくれ。

八つづく

bal' on
collection
series
〈63〉メダル

平山 正博さん

〈平山商会〉

オリンピックで国歌をバックに授与される金メダル——最高の榮誉といえるでしょう。その東京オリンピックを機会に仕事柄もあって平山さんが収集し始めた数々の金・銀・銅のメダル。限定数があり、しかも復刻されず二度と手に入らないものということで執着が感じられるそうだ。そういえば東京オリンピックの時銀行を走り回り長い列を待って銀貨を求めた記憶がおありでは?「とり用まれていると幸せです」と、にっこり珈琲を。

さんプラザ店にて
カメラ / 米田定蔵



ハロシ

★英國風喫茶・レストラン 三宮さんプラザ店
TEL 391-1758 AM11:00~PM9:00迄

★コーヒーショップ トア・ロード店
TEL 391-1210 AM10:00~PM9:00迄

★コーヒーショップ センター街店
TEL 321-4626 AM10:00~PM9:00迄

★コーヒーショップ 神戸亭 三宮センタープラザ店
TEL 332-6361 AM10:00~PM9:00迄

from
Canada



アラスカコディヤック島に
住むインディアンの
サーモン燻製を見る。

岩田弘三

レストラン フツフ
生田区栄町通 ☎ (078) 321-3453

K. K. ロックフィールド
生田区元町通 2丁目95
☎ (078) 321-2989

北野異人館通り デリカテッセンの店

ガストロノミ 生田区山本通り 2丁目106
ローズガーデン 1F

☎ (078) 222-1529 AM 11:00 ~ PM 8:00 (水曜休)

フックのサーモンは下記の店でとり
扱っております。
ガストロノミ
フックデリカテッセンコーナー
● 大丸神戸店 B1
● ショイブラザ 大丸
● 阪急百貨店神戸店 B1
ご購入用に。￥ 6,000 ~ ￥ 10,000
(ナイフ・ケッパー付き)
デリカテッセンを冷蔵輸送するクール
ケイタリングをご利用ください。

神戸のうまいもんとドリンク

★日本料理

讃岐名代うどん あこや亭
箕面区旗塚通7-5 ☎ 231-6300
トアロード店 ☎ 391-2538
兵庫駅前店 ☎ 575-5306

北海道郷土料理 蝦夷
生田区中山手通1-115東門筋東門会館ビル1階
☎ 331-7770

和食くれない
三宮生田新道浜側中央KCビル2F
☎ 331-0494

鍋もの・おむすび
お茶漬・炉ばた
悟味西
三宮さんちかタウン 六甲店 ☎ 822-3564

たこ焼 たこばな
三宮センター街(元柳筋) ☎ 331-0572

とうふ料理 東府家
生田区元町3-53 ☎ 221-1148

お茶漬・おむすび
鍋もの
ふる里
生田区北長狭通2-1 ☎ 331-5535

かつばう吉本
生田区加納町3-95-1(ニュージャパン別館前)
☎ 241-3450

御食事処鳥光
須磨本店 ☎ 731-5855 センターブラザ店 ☎ 331-6948
さんブラザ店 ☎ 391-3696 三宮東門店 ☎ 331-4043

新和食処あじびる
阪急三宮駅山側 ☎ 332-3456

★西洋料理

レストラン アボロン
箕面区八幡通5-6 ☎ 251-3231

レストラン 魔魔皮(あらかわ)
生田区中山手2-9 ☎ 221-8547-231-3315

ステーキハウス グリル青山
生田区中山手通2-112-2(トアロード)
☎ 391-4858

レストラン クイーンズコート
生田区山本通2丁目31 ☎ 242-2469

ステーキ&
ドリンクス 神戸館
生田区下山手通2-29-3 アマツビル1F
☎ 321-2955

スカンディナビア料理
と世界の民族音楽の店 ゴックスタッド
生田区山本通3-18 回教寺院前 ☎ 242-0131

GALLERY &
STEAK HOUSE SAN-MON三門
生田区中山手通2丁目98-99 ☎ 331-5817

Café et
Restaurant

アンドウトワ
生田神社西 伊藤ビル1F ☎ 391-8639

レストラン スイスシャレー
生田区北野町3-48アニルドマンション1F
☎ 221-4343

レストラン セントジヨージ
生田区北野町1-130 ☎ 242-1234

レストラン 男爵
生田区中山手1-18
山手第一ビル1F ☎ 241-0778

メキシコ小料理亭 テイフアナ
生田区中山手通1丁目4-12 パールゴーボラスピル1F
☎ 242-0043

Restaurant & Lounge ボナベチ
生田区北野町3-49 BKブラザ1F
☎ 222-5300

ピザ・パブ ピザ・パテオ
生田区元町通1-49(元町1番街) ☎ 331-9378

フランス料理 ピストロドゥリヨン
生田区山本通2-40-1 ☎ 221-2727

居酒屋ステーキ でんしん棒
生田区中山手通2ロードマリーハイツ中山手B1 ☎ 332-6633-4

maison de la mode 花屋敷
三宮フラワーロード役所前 ☎ 251-2109

ボリネシア料理 海賊焼 フィッシュシャーマンズポート
神戸港第4突堤ポートターミナル ☎ 331-0301

レストラン フック東店
生田区栄町1-5-3 ☎ 321-3207

レストラン ムーンライト
三宮・生田新道 ☎ 331-9554

グリル・鉄板焼 月
☎ 331-2509

喫茶・レストラン カフェパウリスタ
三宮・トアロード(パウリスタビルB1) ☎ 391-0061

ステーキハウス れんが亭
生田区下山手通2-34 ☎ 331-7168

BARBECUE & STEAK 六段
生田区元町通3 ☎ 331-2108

居酒屋 ロス・ヒターノス
フラメンコショー

レストラン フック神戸店
生田区栄町2-24 ☎ 321-3453

炭焼ステーキ 凱旋門
生田区下山手通2丁目6 新道ビル1F
☎ 321-3378

ドイツレストラン ハイデルベルク
生田区山本通2丁目 ローズガーデン2F ☎ 222-1424

カブリオ
神戸三宮さんプラザB1F ☎ 391-5206

ぶはら
生田区中山手通1丁目19 クラン山手B1
☎ 241-7017

★喫茶 City of City
生田区三宮町3丁目2-11 ☎ 331-1117

ティー&スナック エボツク
生田区元町通3(浜側) ☎ 331-3694

喫茶ガーデニア
生田区東町113-1 大神ビル1F
☎ 321-5114

宮水のコーヒー にしむら珈琲店
中山手店・生田区中山手通1-70

センター街店・生田区三宮町2-35
☎ 391-0669

北野店・山本通2-9 242-2467
(会員制) 3F事務所 ☎ 242-1880

ピアノホール バックステージ
生田区三宮町1サンプラザ10F サンロイヤル
☎ 332-0230

珈琲モーツアルト
生田区山本通2-98グランドマンション1F
☎ 241-3961

ファッショナブル キングスコート
ゾーン ティーラウンジ ペントハウス
生田区山本通2-111 キングスコート内 ☎ 242-7090

珈琲 ん
生田区三宮町2丁目25(トアロード) ☎ 391-1589

★club c l u b 飛鳥
生田区中山手通1-117 ☎ 331-7627

c l u b 小万
生田区東門筋中島ビル3F ☎ 391-0638-4386

c l u b さち
生田区中山手通2-75 ☎ 331-7120

クラブ千
生田区下山手通2-21 ☎ 391-1077

c l u b なぎさ
生田区北長狭通2-1 ☎ 331-8626

クラブるふらん
生田区北長狭通1-111-11 ☎ 331-2854

c l u b Moon Light
BAR ☎ 331-0886-391-2696
Club ☎ 331-0157

★STAND & SNACK

PUB & RESTAURANT アップランド
生田区加納町3-1-34 ☎ 241-8271

サロンドアルバトロス
生田区中山手通1-24-7
大和ナイトプラザ2F ☎ 231-3300

DRINKING IS AN ART OF LIFE ウッドハウス
生田区下山手通1-32 ☎ 241-7320

ETエトワ TOI
生田区三宮町3-1 スカイトアビル3F
神戸トアロード三宮センター街西入 ☎ 332-1755

純会員制 エドワーズ俱楽部
生田区北長狭通1-28 ホワイトローズビル5・6F
生田新道 ☎ 391-3300

S N A C K L & M
生田区北長狭通1-25 生田新道ビルB1
☎ 321-3070

ナイトイイン おしゃれ貴族
生田区中山手通1-24-7
大和ナイトプラザB1 ☎ 242-1925

スナック蘭の花
生田区中山手通2丁目30-1
東門ダイワナイトプラザ5F ☎ 391-4455

スタンドかでな
生田区中山手通1-90 英健ビル1F
☎ 331-1316

本店洋酒の店 キヤンティ
生田区北長狭通2-3
☎ 391-3060-391-3010

北店スープとパンの店
生田区下山手通3-8-9 ☎ 331-3661

スタンドグラムール
生田筋岸ビル地階 ☎ 331-4637

スタンドくる実
生田区中山手通1-72 ☎ 331-6985

サロンド神戸時代
生田区中山手通1-28
モンシャトウコトブキビル ☎ 242-3567

カクテルラウンジ サヴォイ
高架山側 テキの店北 ☎ 331-2615

スナック山莊
生田区北長狭通1-22 ☎ 391-5823

music spot サントノーレ
トアロード店 生田区下山手通2トアロード
☎ 391-3822

北野店 生田区中山手通1-24-7
ダイワナイトプラザ6F ☎ 221-3886

スナックレオパルド
生田区中山手通2丁目30-1
東門ダイワナイトプラザ6F ☎ 391-0992

DRINK SNACK スネカジリツ子
生田区下山手通2水呑ビルB1
☎ 391-8708

珍地理屋 生田区中山手通1-24-7
大和ナイトプラザ1F ☎ 242-0288

素舌洞でつさん
生田区北長狭通1-258 ☎ 331-6778

STAND マシユケナダ
生田区中山手通2-30-1 東門大和ナイトプラザ2F
☎ 331-5587

サロンドパレス小姫
生田区加納町4丁目神三ビル2F
☎ 332-1098

S N A C K シヤングリラ
生田区中山手通1マリンビルF
グランプリ・中山手通1ニューグランビル2F
☎ 391-4406

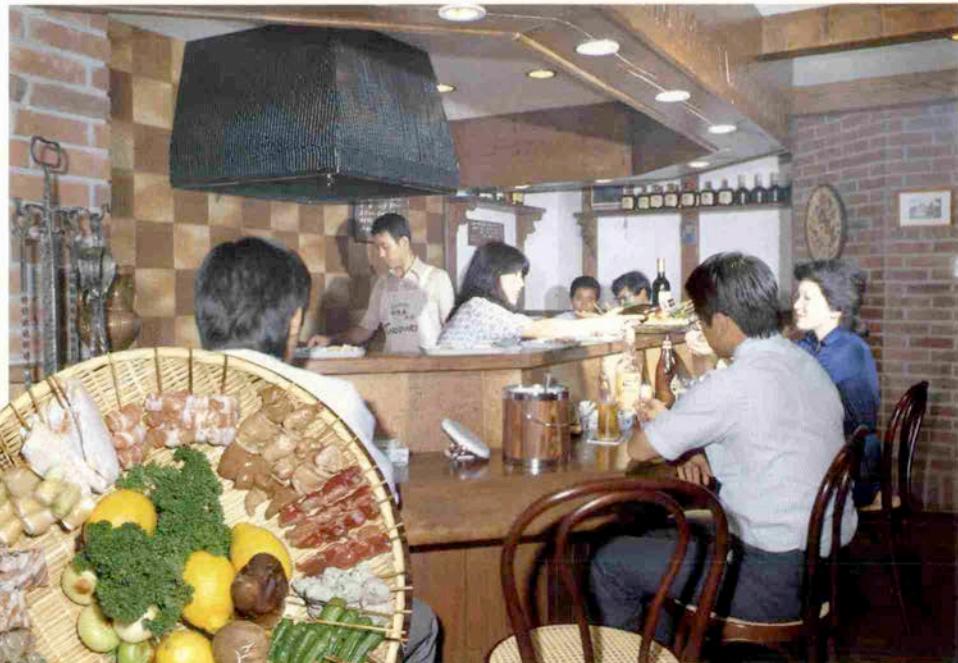
WINE & RESTAURANT 酒夢猫
生田区中山手通1-76 神戸酒販ビル2F
☎ 332-3308

★喫茶

喫茶専門チェーン 株式会社ミカド
英國屋 喫茶館
カフェ・ブランダン
珈琲館 煉瓦屋

神戸国際会館 浜側
国鉄元町駅東口山側
国鉄元町駅東口山側

一風かわつたやき鳥のお店です
独特の風味をご賞味ください。:



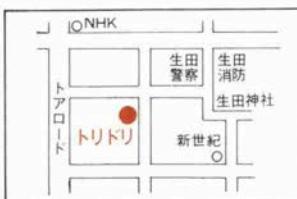
トリドリコース あすばら巻・ねぎ巻・しそ巻・梅ささ身・身巻とまと味
みんち・砂すり・きも・手羽先・皮(カレー味)・しいたけ・ししとう・ぎんなん
13種類¥1,600

欧風
やき鳥
焼
トリドリ

神戸市生田区中山手通2丁目13番地
生田ソシアルビル1F

☎ 078(391)3028

5:00PM-11:00PM 日曜日休み(祭日は営業)



●私たちの文化財を大切に： 異人館歳時記〈44〉

ボリビア共和国名誉総領事館

町角に建つ異人館の一つで、小規模ながら異人館の特長をよく備えている。木造二階建の寄棟造、桟瓦葺で建築は明治45年というから古い。現在はモルタル塗であるが当初の外壁は下見板張りだと思われる。改造成が著しいのだが様式はよく留めており特にベランダの徳利塚が印象的な建物である。ボリビア総領事館（F・A・セレス総領事）としてこの地にあるというのも神戸らしい。かたわら神戸の名物産業である国内の80%を占めるといわれる真珠加工も行なわれており異人館が現在もそれらしくユニークに生きているのは嬉しい限りだ。



ハイカラ神戸の 伝統が育んだ 格調ある専門店

●このシリーズは
ファッション都市 KOBE への
私たちの願いをこめて

★世界のオシャレをお届けする

ウネ
KOBE LINE

★よろず御襷衣縫上處

神戸シャツ

★舶来品ブティック

Sanohe

★欧風家具・設計・創作

永田良介商店

★ネクタイの

元町バザー

★靴のオーダーメード

ヨシオカ

★オートクチュール

ユスター・ニュートン

カメラ・米田定蔵



SEPTEMBER IN THE RAIN

The leaves of brown came tumbling down
remember in September in the rain.
The Sun went out just like a dying ember that September in the rain.



仲間が集まって来では自慢のオーディオ装置から流れる音楽を酒のサカナに音楽談義に花を咲かせるこの秋の宵

末広光夫のミュージックサロン

ティファニー

生田区中山手通1

☎ 241-1771 日祝休



ニギヤカですね、ホントにいつも。そう、お酒を飲んで楽しく楽しくやりましょう。それが一番いいですよね。

STAND

AKANE

生田区中山手通1 (東門筋) 山手ロッジ3F

☎ 321-2336 無休



秋の気配を感じます。グラスを持つ手に何故か懐かしさを覚える季節です。酒夢猫のいい酒があれば満足ですね。

只今、女性スタッフ募集中です

WINE & RESTAURANT

酒夢猫

生田区中山手通1 神戸酒販ビル2F

☎ 332-3308



シャレた会話と、ラグジュアリーなムード。秋の夜は、あなたの小部屋ボルシェで、ステキなレディとともに。

只今、女性スタッフ募集中です



SNACK PORSCHE

生田区北長狭通1

☎ 331-8785 日曜休 (祭日は営業)

NIGHT IN KOBE

To every word of love I heard you whisper the raindrops seemed to play a sweet refrain.
Though Spring is here to me it's still September that September in the rain.



肉料理を味わいながら、気の合った仲間と乾杯。シャレたセンスのあなたにピッタリ。AM11~PM2ランチタイム

居酒屋ステーキ

てんしん棒

生田区中山手通2 ロータリーハイツ中山手B1
☎332-6633~4 木曜休み 11:00AM~2:00AM



— The September of My Years —

BACK STAGE

生田区三宮町1 さんプラザ10F サンロイヤル

☎332-0230 第1、3月曜休

Coffee Time 11:00~6:00 Whisky Time 6:00~12:00



今夜はマスターの誕生パーティ。いつもの仲間が集まつて和気あいあい。今夜はあんた、マスターが主役です。

スナック&喫茶 ノンノン

須磨区月見山本町 山電月見山駅南隣
☎734-7676 火曜休



9月30日に開店一周年記念として、ジャズヴォーカルの中本マリを迎えてパーティを開催いたします。



LOUNGE

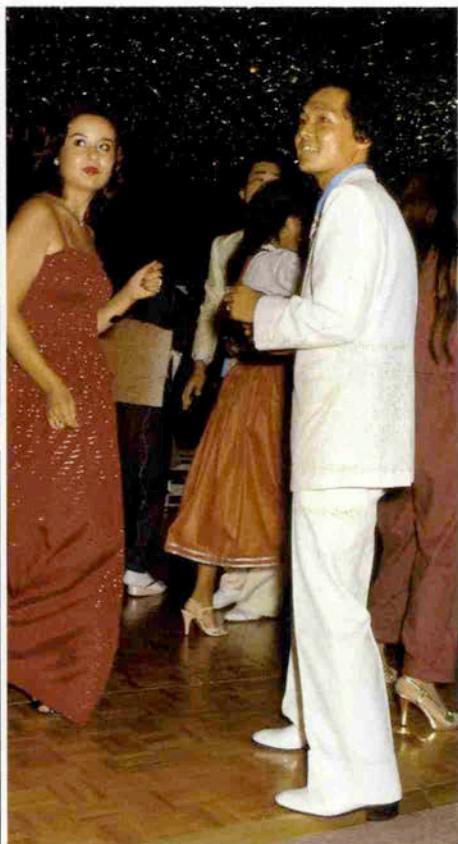
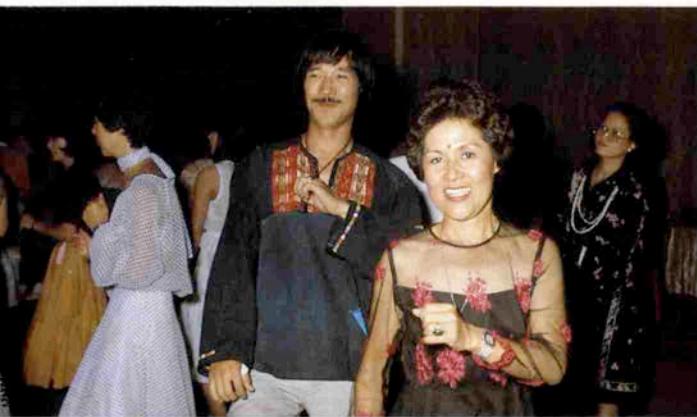
羅針盤

コンパス

芦合区二宮町3 大西ビル(海皇)2F

☎242-1236 無休

〈日〉 PM6:00~9:00オリエンタルホテル2Fにて



スナック ちくせん

生田区中山手通1丁目114-1
(中島ビル4F)
☎331-3131
岩本文夫



Charity Dance Carnival

1978.8.6



おかげさまで楽しいチャリティダンスカーニバルの夜を過せました。



DRINKING IS AN ART OF LIFE 生田区中山手通1丁目32
WOODHOUSE 山内ビル

☎ 241-7320・7983

JAZZ CLUB

SATIN DOLL

生田区中山手通1丁目57

富士産業ビル1F

☎ 242-0100



ブラジリアンレストラン&パブ
COPACABANA 〈コパカバーナ〉

生田区中山手通2丁目33-1 ☎ 332-6694-6697

KOBE EATING & DRINKING GUIDE

PUB &
RESTAURANT
UPLANDS

生田区加納町3丁目

1-34

☎ 241-8271

